

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月22日

上場取引所 東

上場会社名 鉦研工業株式会社  
 コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末永 幸紘  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長 (氏名) 三輪 美之

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6907-7888

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,812	24.4	158	209.4	150	194.2	133	207.6
26年3月期第1四半期	1,457	36.0	51	—	51	—	43	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 132百万円 (214.7%) 26年3月期第1四半期 42百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	14.88	—
26年3月期第1四半期	4.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	7,070	1,964	27.8
26年3月期	6,924	1,832	26.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,964百万円 26年3月期 1,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	3,400	△0.9	210	△27.7	195	△31.6	148	△37.3	16.51
通期	7,060	4.5	339	△33.9	280	△43.3	220	△45.8	24.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	8,970,111 株	26年3月期	8,970,111 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	3,203 株	26年3月期	3,193 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	8,966,940 株	26年3月期1Q	8,967,082 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期連結決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費や生産活動には弱い動きが見られたものの、政府の経済政策・金融政策により、企業収益や雇用情勢は着実に改善が見られ、設備投資も増加に転じるなど、全体として緩やかな景気回復が見られました。

こうした中、当社グループでは、前連結会計年度より開始した「2013新中期経営計画」に基づき、売上の持続的拡大と収益体質の確立を上位目標として、機械本体及び部品・商品の売上拡大、研究開発の強化・新製品の開発、海外新興国市場の攻略、バリュー・エンジニアリング手法を活用した原価低減、新たな工事得意工種の確立を図ることにより、売上高を伸ばすとともに損益分岐点を引き下げるべく注力しております。

当第1四半期連結累計期間は、設備の更新需要や建設投資の増加を背景として、ボーリング機器関連および工事施工関連の受注がともに伸びたことから、受注高は前年同四半期比79.5%増の2,134百万円となりました。売上高につきましては、ボーリング機器関連は前年同期が大型ODA案件の売上があった反動で減少したものの、工事施工関連が国内、海外ともに大幅に増加したことにより、売上高は前年同四半期比24.4%増加し、1,812百万円となりました。

利益面におきましては、売上高の大幅な増加に加え、継続した原価低減への取り組みなどが寄与し、営業利益は158百万円（前年同四半期比209.4%増）、経常利益は150百万円（前年同四半期比194.2%増）、四半期純利益は133百万円（前年同四半期比207.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ボーリング機器関連

当セグメントにおきましては、国内販売は設備の更新需要や新規設備投資の動きが促進されたことにより機械本体及び部品の受注が増加し、海外販売は中国、韓国から機械本体などの受注が増加したことにより、当第1四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比72.4%増の1,492百万円となりました。こうした受注環境下、国内販売の売上は前年同四半期比15.0%増の793百万円となりましたが、海外販売の売上が前年同四半期比80.6%減の66百万円であったため、売上高は前年同四半期比16.6%減の859百万円となりました。売上高は減少したものの、バリュー・エンジニアリング手法による購入部材費低減や現場改善による生産効率向上等により、セグメント利益（営業利益）は前年同四半期比3.6%減の47百万円となりました。

#### 工事施工関連

当セグメントにおきましては、当第1四半期連結累計期間は海外工事の受注はなかったものの、国内における新たな先進ボーリング工事、大口径掘削工事の大型工事案件の受注により、受注高は前年同四半期比98.6%増の641百万円となりました。売上高につきましては、国内工事は先進ボーリング工事、大口径掘削工事、温泉工事等が完工し、海外工事においても2件の大型ODA案件工事が進行したことにより、前年同四半期比123.6%増の952百万円の売上高となりました。当第1四半期連結累計期間においては売上高の増加に加え施工が順調に進行し工事採算が向上したことにより、セグメント利益（営業利益）は前年同四半期比108百万円増の111百万円となりました。

## ( 2 ) 財政状態に関する説明

### 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して146百万円増加し、7,070百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が212百万円、未成工事支出金が68百万円、現金及び預金が59百万円減少しましたが、完成工事未収入金が192百万円、商品及び製品が192百万円、仕掛品が84百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して125百万円増加し、5,373百万円となりました。

固定資産は、車両運搬具などで58百万円の設備投資を行いました。37百万円の減価償却の実施により、前連結会計年度末と比較して21百万円増加し、1,696百万円となりました。

### 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して14百万円増加し、5,105百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が140百万円増加しましたが、短期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が162百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して37百万円減少し、3,792百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の調達等による増加69百万円などにより、前連結会計年度末と比較して51百万円増加し、1,312百万円となりました。

### 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益133百万円等を計上したことから、1,964百万円となり、自己資本比率は27.8%となりました。

( 3 ) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成26年4月24日付「平成26年3月期決算短信」において公表いたしました平成27年3月期の業績予想のうち、第2四半期累計期間の連結業績予想を修正いたしましたのでご参照ください。なお、通期の連結業績予想につきましては、現時点では前回予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	987,065	927,611
受取手形及び売掛金	1,588,183	1,375,770
完成工事未収入金	288,023	480,978
商品及び製品	1,042,969	1,235,444
仕掛品	281,535	366,245
未成工事支出金	580,228	511,667
原材料及び貯蔵品	262,913	284,540
その他	220,163	194,087
貸倒引当金	2,547	2,559
流動資産合計	5,248,535	5,373,786
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
土地	1,079,566	1,079,566
その他(純額)	489,025	510,277
有形固定資産合計	1,568,591	1,589,843
無形固定資産	25,413	25,039
<b>投資その他の資産</b>		
その他	192,841	183,620
貸倒引当金	111,280	101,919
投資その他の資産合計	81,560	81,701
固定資産合計	1,675,565	1,696,584
資産合計	6,924,100	7,070,371



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,376,064	1,516,715
工事未払金	71,087	73,980
短期借入金	1,068,200	909,200
1年内返済予定の長期借入金	311,100	307,655
未成工事受入金	458,825	394,398
未払法人税等	93,240	21,014
賞与引当金	139,861	83,609
その他	312,224	486,394
流動負債合計	3,830,603	3,792,967
固定負債		
長期借入金	363,010	432,755
役員退職慰労引当金	93,489	84,248
退職給付に係る負債	528,967	525,255
資産除去債務	11,262	11,297
その他	263,980	258,900
固定負債合計	1,260,709	1,312,456
負債合計	5,091,313	5,105,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
利益剰余金	532,428	665,870
自己株式	1,333	1,338
株主資本合計	1,696,510	1,829,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,784	1,953
土地再評価差額金	162,100	162,100
退職給付に係る調整累計額	27,607	29,055
その他の包括利益累計額合計	136,276	134,999
純資産合計	1,832,787	1,964,946
負債純資産合計	6,924,100	7,070,371

( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月30日)
売上高	1,457,256	1,812,151
売上原価	1,118,979	1,356,332
売上総利益	338,276	455,819
販売費及び一般管理費	287,012	297,187
営業利益	51,264	158,632
営業外収益		
受取利息	150	150
受取配当金	61	88
為替差益	562	-
貸倒引当金戻入額	9,267	1,776
その他	3,049	2,420
営業外収益合計	13,091	4,435
営業外費用		
支払利息	12,056	10,590
支払手数料	500	173
為替差損	-	1,327
その他	795	898
営業外費用合計	13,351	12,989
経常利益	51,004	150,078
特別利益		
固定資産売却益	4,541	-
特別利益合計	4,541	-
特別損失		
災害による損失	-	640
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	640
税金等調整前四半期純利益	55,545	149,438
法人税、住民税及び事業税	12,340	16,000
法人税等調整額	179	4
法人税等合計	12,160	15,995
少数株主損益調整前四半期純利益	43,384	133,442
四半期純利益	43,384	133,442

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	43,384	133,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	169
退職給付に係る調整額	1,478	1,447
その他の包括利益合計	1,382	1,277
四半期包括利益	42,001	132,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,001	132,164

( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

( 継続企業の前提に関する注記 )

該当事項はありません。

( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 )

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	ボーリング機 器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,031,357	425,898	1,457,256	-	1,457,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,775	-	1,775	1,775	-
計	1,033,133	425,898	1,459,031	1,775	1,457,256
セグメント利益	48,937	2,593	51,531	266	51,264

(注)1.セグメント利益の調整額 266千円は、セグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	ボーリング機 器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	859,953	952,198	1,812,151	-	1,812,151
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,679	-	1,679	1,679	-
計	861,633	952,198	1,813,831	1,679	1,812,151
セグメント利益	47,180	111,509	158,690	57	158,632

(注)1.セグメント利益の調整額 57千円は、セグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。